



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



Kalyan Banerjee

カルヤン・バネルジー
2011-12年度国際ロータリー会長

No. 23

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

原点にかえり大いに語ろうロータリーを

- ① 会員相互・家族との親睦を図ろう
- ② 会員が中心の明るく楽しい例会運営
- ③ ところを伝える広報をし、仲間を増やそう
- ④ CLPの検討

例会記録 (2012. 1. 6 (金)) 通算2,877回

◆開 会

◆国歌斉唱 君が代

◆唱 歌 ロータリーソング (奉仕の理想)

◆「四つのテスト」唱和

◆プログラム予定

| 1月13日 (金) | 1月20日 (金) | 1月27日 (金) | 2月4日 (土) |
|----------------------------|-------------------------|-----------|---|
| 卓話 「新春放談」 高砂市長 登 幸人様 | 卓話 地区員出向報告 守光 隆会員 | 中間報告 | (3日例会分) 東播第2グループ I.M. 於)加古川プラザホテル PM 3:00~ |

◆出席報告

本日 1月 6日 会員数49名 出席者 36名 出席率 83.72%
前々回 12月 9日 会員数50名 修正出席者42名 出席率100.00%修正

◆MAKE-UP

| | | |
|---------|---------|------------------|
| 河合 利昭会員 | e-CLUB | 1月 5日 (1月13日分) |
| 中野 哲郎会員 | 高砂青松RC | 1月 4日 (1月13日分) |
| 伊地知正治会員 | e-CLUB | 1月 4日 (12月23日分) |
| 丸山 恵右会員 | e-CLUB | 12月28日 (12月23日分) |
| 濱崎日出夫会員 | e-CLUB | 12月28日 (12月23日分) |
| 濱崎日出夫会員 | e-CLUB | 12月28日 (1月 6日分) |
| 覚野 成広会長 | 国際ローター- | 11月26日 (12月23日分) |
| 守光 隆会員 | 国際ローター- | 12月10日 (12月23日分) |
| 後藤 純次会員 | 国際ローター- | 3月12日 (12月23日分) |

◆お祝い

○出席100%祝

| | |
|---------|-----|
| 伊藤長次郎会員 | 56年 |
| 片岡 正会員 | 49年 |
| 後藤 純次会員 | 4年 |
| 高木 史郎会員 | 4年 |

○誕生日祝

| | |
|---------|---------|
| 喜始すみ子会員 | 新井 哲三会員 |
| 寺崎 道雄会員 | 狩野 雄作会員 |
| 脇谷 政孝会員 | |

○結婚記念日祝

| | |
|---------|---------|
| 森本 克己会員 | 名島 一成会員 |
|---------|---------|

○配偶者誕生日祝

| | |
|--------|--------|
| 寺崎 朋子様 | 永野知代子様 |
| 佐野 裕美様 | 後藤 昌世様 |



出席100%祝



会員誕生日祝

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

伊藤長次郎会員……出席100%祝を戴きましてありがとうございます。
後藤 純次会員……出席100%祝を戴きましてありがとうございます。
高木 史郎会員……出席100%祝を戴きましてありがとうございます。
喜始すみ子会員……誕生日祝を戴きましてありがとうございます。
新井 哲三会員……誕生日祝を戴きましてありがとうございます。
狩野 雄作会員……誕生日祝を戴きましてありがとうございます。まだまだ青春！

脇谷 政孝会員……誕生祝を戴きましてありがとうございます。

永野 力会員……配偶者誕生祝を戴きましてありがとうございます。

佐野 敏晴会員……配偶者誕生祝を戴きましてありがとうございます。

後藤 純次会員……配偶者誕生祝を戴きましてありがとうございます。

名島 一成会員……結婚記念祝を戴きましてありがとうございます。

覚野 成広会長……あけましておめでとうでございます。下半期もよろしくお願い致します。

西田 秀雄幹事……新年あけましておめでとうでございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。坂井会員には年末大変お世話になりありがとうございます。

大村 泰司会員……皆様、明けましておめでとうでございます。恒例ですので、へたな謡曲を歌わせて戴きます。

新井 哲三会員……新年おめでとうでございます。謡曲謡い初めさせて戴きます。

山本 広志会員……新年おめでとうでございます。謡曲謡い初めさせて戴きます。

永野 力会員……明けましておめでとうでございます。今年も皆様にとって良い年になります様お祈り申し上げます。

信原 智彦会員……本年もよろしくお願い致します。

早退 3名

◆幹事報告（2,877回）

- ガバナー事務所より、社会奉仕委員会からアンケート調査のお願いが届いております。
- ザ・ロータリアン誌12月号が届いております。
- ガバナー事務所より、地区大会「新世代の集い」ご案内が届いております。
- 尼崎西RCより、「第29回インターアクト地区年次大会報告書」が届いております。
- BANBAN テレビ(株)より、「BANBAN ガイド」1月号（年始ご挨拶名刺広告掲載分）が届いております。
- 関西電力より、「わっと」冬号が届いております。
- 高砂市国際交流協会より、「国際交流通信」1月号が届いております。



西田秀雄幹事

※例会変更

- ◎高砂青松RC 1月18日（水）→ 1月21日（土）新年家族例会 18：30～
ホテル オークラ神戸
- 2月 1日（水）→ 2月 4日（土）東播第2グループI.M.
- ◎姫路中央RC 1月 5日（木）休会
- 1月12日（木）→ 18：00～ 新年例会 日本料理 竹善
- ◎姫路南RC 1月23日（月）「移動例会」11：20～
社会福祉法人 姫路学園

◆会長の時間

あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えになったことと心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、東日本大震災、豪雨による各地での水害、高砂ロータリークラブでは、片岡会員、坂牛会員と経験豊かなロータリアンを二人も失うなど、悲しい出来事の多い年であったような気がします。

昨年7月に「原点にかえり大いに語ろうロータリーを」というテーマを掲げ、スタートさせて頂き、会員の方々の友情とご協力により、着々と事業を消化し、上半期を無事終えることが出来ました。

1月はロータリー理解推進月間でもありますので、新たなスタートと位置づけ、年度当初に立てたテーマ、方針に沿った運営が出来るよう、大いにロータリーを語り、親睦を深めて、楽しいロータリーにして行きたいと考えますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、本年が会員皆様方にとって一年になりますようお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



覚野成広会長

◆本日のプログラム

新年初例会（謡曲）

謡曲同好会 山本広志会員 新井哲三会員 大村泰司会員



高砂也

たかさごや このうらぶねに ほをあげて--て--
 このうらぶねに ほをあげて つきもろと首に
 いでしおの なみのあわじのしま かけや とおく
 なるおの - おきすまては--や すみの--えに
 つきにけり は--や すみの--えに つきにけ--り--

この音符は合唱の為のもので正しい謡い方とは一部異なります。

高砂也 乃浦舟に帆をあげて
 ともに出汐の波乃炎路乃
 鳥影や遠く鳩尾の沖過ぎ
 ほや住吉に着きにけり
 住吉に着きにけり
 声ぞ樂しむ
 樂にハ命を延大相生乃松風
 秋樂ハ民を撫で萬歳

⑩ 海波

しがいなみ しがかにて くにもおさまる ときつあせえ
 だをならさぬみよ な水也 あいにあいあいの まつこそめでた
 かりけ水 げに也あおきても ことおろかや かがるよにす
 めるたみとて ゆたかなる きみのめくみぞ ありがたき
 きみのめくみぞありがたき

豊かなる君の恵みぞありかたき
 疎かなる君の恵みぞありかたき
 けりかへる代に任る民とて
 あひに相生の松こそめでたかり
 風を鳴らさぬ御代なれや
 歌
 地
 波
 静
 國
 治
 時
 つ

高砂

曲柄 眞初能 一番目 神祇物
季節 二月 月
稽古 順
所 前 一 級
後 播磨國加古郡高砂
攝津國大阪市住吉

〔別名〕 相生・相生松。

〔作者〕 世阿彌元清。

〔資材〕 古今集假名序に「高砂住の江の松もあひおひのやうにおほえ」と見え、古今秘説に之を解して「高砂とは上古萬葉集の歌を指す。住の江とは當代古今集の歌を指す。合はせて一部となれば、相生とて松は千歳をふる爲に祝ひいへるなり」とあるのなどに基つき、この名高い二つの松の精を老夫婦として、相生の夫婦・友白髪の夫婦と祝ひ、その上に國土安穩・御代長久の祝意をも籠めたのである。又伊勢物語には、「昔帝住吉に行幸し給ひけり」と詞書して、「われ見ても久しくなりぬ住吉の岸の姫松幾代經ぬらん」の歌を載せ、次にその返歌として、「御神現形し給ひて」の詞書の後に、「睦まじし君は知らずや瑞籬の久しき代より祝ひそめてき」の歌を載せてゐるが、この二首の和歌も本曲後シテの出に引かれてゐる。

〔構想〕 時は春の初、所は播州高砂の浦。その浦にある高砂の松の木蔭を、共に白髪の老人夫婦が來て掃き清める。都

に上る途中この浦に立寄つた肥後國阿蘇の宮の神主友成は、この夫婦を見て、高砂の松といふのはどの木かと尋ね、更に國を隔てた高砂の松と住吉の松とを相生の松といふ譯や、高砂の松のめでたい謂はれなどに就いて訊ねると、夫婦は、故事などを引いて詳しく答へた後、實は私共がその相生の松の精であると打明け、住吉でお待ちませうと言つて、夕波の寄する汀にあつた小舟に打乗つて沖の方へ消え失せた。一中入―そこで友成も舟で住吉へ行くと、月下に住吉明神が影向されて神舞を舞ひ、御代萬歳・國土安穩を祝はれる。季節は春の初であつて、長閑な気分があり、又常に變らぬ縁の色を見せ、然も千年の齡を保つといふ松を象徴した老人夫婦には夫婦仲の變る事もなく、共に長壽を保つといふめでたさがあり、住吉明神の姿には颯爽たる威嚴がある。

〔附記〕 本曲は佛教臭味を少しも帯びてゐないのを特色とするが、古書に「觀世本協能也。諸流共に極祝言用協能也」とある通り、特にめでたい曲として取扱はれてゐる。

